

61 ネットゲーム

少し長くなります。

年の瀬のお忙しい中、個人面談にご協力いただきありがとうございました。前回今回と、個人面談は、授業参観・懇談会が実施できていませんので、直接保護者の皆様と各担任が話せる貴重な時間です。十分な時間を確保することはできませんでしたが、学習面生活面等で様々な情報の共有ができたのではないのでしょうか。

冬休みが近づき、新型コロナウイルスの影響もあり、家庭内で過ごす時間が長くなるかと思えます。ここで気になることが一つ、ネットゲームです。もはや学年関係なく、多くの子どもたちがこのネットゲームを楽しんでいるというのを聞きます。ただゲームを楽しんでいるのであればそこまで大きく気にはならないのですが、子どもたちに人気のある F や M というゲーム、ゲームメーカーの自主規制的に **12 歳以上**や **15 歳以上**という**年齢制限**を設けているところもあるようです。年齢制限が設けられている背景として挙げられるのがチャット機能とゲームの内容です。淡々とコンピュータの作り出したキャラクターを倒すテレビゲームとは違い、**画面の向こうには人(相手プレイヤー)がいます**。その人と時にはチームを組むこともあるようですが、時にはその人に**暴言を吐いたり吐かれたり**、あるいはゲーム内とはいえ**殺害行為、破壊行為**が行われるのです。このような環境下に何時間も没頭していれば、**実生活にも大きな影響**が懸念されるどころです。

ネットゲーム自体そのすべてが悪いということもないでしょう。動画投稿サイトで年間 30 億円の収益を得ているのは 9 歳の男の子というニュースを目にしました。e-スポーツと呼ばれるゲーム上でのスポーツ競技にはプロが存在するほどです。ネット型対戦ゲームに参加することを業務に位置付けている会社まで出てきています。

個人面談でもこうした話題**(困っています)**がかなりあがってきました。今やネット依存で専門医がいるくらいですから、ネットゲームには**まりすぎる**ことは非常に危険なことと認識すべきではないのでしょうか。**学校は**ネットのマナーを教えたり、ネットのもつ怖さや、悪影響を伝えたりすることはできます。しかしながら、**ゲームをやめさせることはできません**。お困りであれば、まずは動くことです。時間がかかっても**お子さんと話をすること、画面の前にいる時間をご家庭でコントロールすること、など一歩踏み出す**ことが大切です。